

## **ASIA 21** (アジア・トゥエンティーン) ヤング・リーダーズ・サミット

### 要旨

急速な国際変化が国境を越えた新しい諸問題を提示している現在、アジアと米国はそれらの問題を解決するため、斬新で創造的な思考や、新世代のリーダーに目を向けなければなりません。私達アジア・ソサエティーは、アジア太平洋地域の様々な分野のリーダーシップの発展を先導する国際会議、「アジア21・ヤング・リーダーズ・サミット (The Asia 21 Young Leaders Summit)」の活動の支持をお願い申し上げます。

「アジア21・ヤング・リーダーズ・サミット」は、アジア諸国及び米国における40歳以下の新進リーダー達の為に、交友関係を築き、学際的意見交換と文化交流を行いながら、共有している諸問題に立ち向う協調対応の発展を求めるためのアクティブネットワークを作り出します。アジア21・ヤング・リーダーズのスタートとして、ビジネス・政治・市民社会・メディア・芸術及び文化・学界などのあらゆる分野を代表する若手リーダー達をサポートする為、より知名度を上げるよう、200人以上の参加者をこのサミットで募っています。

第一回「アジア21・ヤング・リーダーズ・サミット」は、2006年11月17日～19日に韓国のソウルで開催されました。世界的な重要問題に対処するアジア21・ヤング・リーダーズの仕事ぶりや先見性は、アジア地域すべてにわたって、知名度を高めました。このサミットでは、リーダーシップの課題や健全に統括され、安全で力強い社会を作ることを切りひらく為に専念したセッションと同時に、韓国の金大中（キム・デジュン）元大統領、韓明淑（ハン・ミョンスク）前首相などの基調講演がありました。2007年には、10月5日～7日にシンガポールでサミットを開催し、基調講演にシンガポールのセッラパン・ラマ・ナザン大統領を迎えました。過去に開催したサミットの詳細に関しましては、アジア21のウェブサイトをご覧ください。

[www.asiasociety.org/asia21](http://www.asiasociety.org/asia21).

アジア21ネットワークの第一目標は、若きリーダー達の交流作りの場を提供することです。よって、アジア21の参加者は、テレビ会議、専用のウェブサイト、フェローズディレクター及びメーリングリスト、月報、Facebook や wiki、世界各地で開催されるアジア・ソサエティー主催の各会議やプロジェクトの参加などによって、年間を通して十分に徹底的なコミュニケーションを取ることができます。さらに、サミット終了後の各地域での分会活動もアジア21の旗振りのもと、形成されつつあります。例えば、現在、フィリピンでフィリピン21分会があり、定期的な会議、公共活動、そして年次サミットへの参加をやり遂げています。

## 日本でのアジア 21 サミット

アジア・ソサエティーは、次回の「アジア 21 サミット」を 2008 年 11 月に日本での開催を準備しております。日本での開催を可能にする為、是非、日本企業の皆様のご支援・ご協力を承りたく存じます。日本企業の皆様がこのサミット開催をご支持して頂くことによって、次世代リーダーに地域を越えたつながりを作ることを援助することとなります。皆様は、地域共同の現実的な意味や価値を重視している、若手リーダー達との関係を築き、さらに地域でも有力な若手リーダー達の集まりに参加することもできます。

### 目標、問題及び影響

「アジア 21・ヤング・リーダーズ・サミット」は今年で 3 年目を迎えますが、アジア太平洋地域の主要な変革の旗手となっています。アジア・ソサエティーが 50 年前にその門戸を開いてから、世界は想像も及ばない方向に変わり、アジアとアジアのリーダー達に立ち向かっている世界的な諸問題もここ数十年間でかなり変容しました。特に際立った問題は、国特有ではなく、まさに国境を越えたものばかりです。HIV・エイズ問題、公衆衛生危機問題、環境劣化問題と人権問題等が地域で最も問題となっていますが、リーダー達は自分達のコミュニティとその問題として理解するだけでなく、どうやって国境を越えて、問題を解決する為に有効な活動方法を知ることにより、その問題解決に取り組めるのです。

「アジア 21・ヤング・リーダーズ・サミット」は、下記のようにリーダーの成長と出現を促進しています。

1. アジア及び米国をまたがって活躍している、政府・ビジネス・学界・そしてその他の分野のトップの若手リーダー達を集結しながら、アジア太平洋コミュニティが直面している最も挑戦的な諸問題を綿密に調査し、これらの問題をどう協力して取り組むことができるのかを提案、展開し、フォーラムを提供すること。
2. 「アジア 21・ヤング・リーダーズ・サミット」を通して発展した若手リーダー達のネットワークの構築によって、閉塞している多国籍企業や相互分野での討論、あらゆる可能性の紛争での平和的な解決などを容易にすることができる。
3. 広範囲な公共プロジェクトと年次の「アジア 21・パブリックサービス・アワード」を通して、公共福祉に強く参加意欲のある価値重視のリーダーシップに集中すること。

## アジア・ソサエティーについて

アジア・ソサエティーは全世界と全アジアを先導する組織団体として、人々とリーダー、米国とアジアの各組織との間の関係を強化しつつ、理解を促進することに取り組んでいます。知識の普及、意見の相互交換、創造的表現の奨励、政策・ビジネス・教育・芸術・文化の各分野を横断する、新しい考えを提案することなどに努めています。

アジア・ソサエティーは、1956年にジョン・D・ロックフェラー三世によって設立されました。当初は米国でのアジアについての知識を大きく普及させる為に作られましたが、今日では、米国とアジアに事務所を持つ世界的な機関として、広範囲にわたる学際的なプログラムを通して様々な教育活動を実行しています。経済と文化がより相互に連結するようになって、アジア・ソサエティーのプログラムは、アジア系アメリカ人問題、国際化の影響問題、そして、人権問題・女性の地位問題・HIV/エイズなどの環境及び世界的健康問題を含むアジアの緊急懸念事項に対処するべく拡がりました。

アジア・ソサエティーは、日本との緊密な関係の歴史を持ち、日本の主要リーダー達が私共アジア・ソサエティーの理事会及び国際評議会の会員です。

### Board Member (理事会会員) :

- 行天豊雄 (Toyoo Gyohten)  
国際通貨研究所理事長、三菱東京 UFJ 銀行特別顧問  
アジア・ソサエティー理事会メンバーの一人

### International Council Members (国際評議会会員):

- ケネス・S・コーティス (Dr. Kenneth S. Courtis)  
コンサルタント、元ゴールドマン・サックス・アジア (日本) 副会長
- グレン・S・フクシマ (Mr. Glen S. Fukushima)  
エアバス・ジャパン株式会社 代表取締役社長
- 船橋洋一 (Dr. Yoichi Funabashi)  
朝日新聞社コラムニスト・特別編集長
- 猪口孝 (Professor Takashi Inoguchi)  
中央大学 法学部教授 (同公共政策大学院教授兼任)
- 宮内義彦 (Mr. Yoshihiko Miyauchi,)  
オリックス株式会社取締役 兼 代表執行役会長・グループ CEO
- 室伏稔 (Mr. Minoru J. Murofushi)  
日本政策投資銀行 総裁
- 内藤正久 (Mr. Masahisa Naitoh)  
日本エネルギー経済研究所 理事長
- 佐藤行雄 (His Excellency Yukio Satoh)  
日本国際問題研究所 理事長
- 添谷 芳秀 (Dr. Yoshihide Soeya)  
慶應義塾大学 法学部教授
- 辻本勇夫 (Dr. Isao Tsujimoto)  
国際交流基金 文化事業部審議役
- 渡辺泰造 (His Excellency Taizo Watanabe)  
株式会社ANAホテルズ&リゾーツ (全日空ホテルズ) 顧問

ごく最近では、2007年5月16日～18日、東京にて「第17回アジア経済人会議（The Asian Corporate Conference）」を主催。毎年、アジア・ソサエティーがホストを務め、常に注目を集めるこの会議は、2日間半に渡ってアジア太平洋地域のタイムリーな経済及びビジネス問題を取り上げています。ダウ・ジョーンズ&カンパニーとの共同組織で運営されるアジア経済人会議は、世界中からのビジネス及び政治リーダーの円卓会議と同様に、アジア政府の幹部及び他の重要な政策担当者による基調講演も特徴となっています。「第17回アジア経済人会議」の開会の辞に安倍晋三首相（当時）、又、他に5人の日本内閣大臣も同会議に参加しました。このイベントは世界中から千人以上もの代表が出席し、日本で広範囲なメディア報道がされました。ダウ・ジョーンズ&カンパニーとの提携を通して、アジア経済人会議のマーケティング範囲はアジア中に広がっています。

#### アジア・ソサエティー主催の国際会議に対する日本・日本語メディア報道ハイライト (List of Key Media Coverage of 2007 ACC)

韓国での Asia 21

メディア：朝鮮日報／朝鮮日報 JNS

<http://www.chosunonline.com/article/20061117000045>

韓国での Asia 21

媒体：朝鮮日報／朝鮮日報 JNS

<http://www.chosunonline.com/article/20061119000011>

第15回アジア経済人会議レポート

媒体：日本国際問題研究所（JIIA）

<http://www2.jiia.or.jp/pdf/saizensen/no1.php>

第17回アジア経済人会議レポート

媒体：読売新聞社

[http://job.yomiuri.co.jp/news/jo\\_ne\\_07060125.cfm](http://job.yomiuri.co.jp/news/jo_ne_07060125.cfm)

アジア経済人会議が東京で開催。

媒体：読売新聞社

安倍首相（当時）が、第17回アジア経済人会議に出席。

媒体：読売新聞社

環境問題に関して積極的な姿勢。

媒体：読売新聞社

日本の尾身財務大臣（当時）の「日本経済は継続可能な回復軌道にある。」と発言。

媒体：ダウ・ジョーンズ・ニュースワイヤーズ

インドネシア首相、「WTO協定に代わるものはない。」

媒体：Agence France Presse（フランス）

「WTO 協定に代わるものはない。」（AFP 通信より）

媒体：Media: Daily Times （パキスタン）

[http://www.dailytimes.com.pk/default.asp?page=2007%5C05%5C18%5Cstory\\_18-5-2007\\_pg5\\_33](http://www.dailytimes.com.pk/default.asp?page=2007%5C05%5C18%5Cstory_18-5-2007_pg5_33)

日本の首相、世界的役割での大きい防衛変革を希望。（ロイター通信より）

媒体：ボストン・グローブ

[http://www.boston.com/news/world/asia/articles/2007/05/18/japan\\_pm\\_wants\\_security\\_changes\\_bigger\\_global\\_role/](http://www.boston.com/news/world/asia/articles/2007/05/18/japan_pm_wants_security_changes_bigger_global_role/)

麻生外務大臣（当時）が、北朝鮮に対し日本との賢明な話し合いすることで要求を再開。

媒体：共同ニュース

TPG（テキサス・パシフィック・グループ）は、「多くのファンドは日本経済の救世主になるだろう。」とコメント。

媒体：ロイター通信

<http://www.reuters.com/article/mergersNews/idUST32955620070517>

日本政府は、「東京がアジア地域の金融のハブとなるよう目指す。」とコメント。

媒体：ウォール・ストリート・ジャーナル(オンライン)

<http://online.wsj.com/article/SB117940296891406159.html>

日本政府は、「東京が金融ハブとして成長させるには沢山やる必要がある。」とコメント。

媒体：アジア・ウォール・ストリート・ジャーナル(オンライン)

尾身財務大臣（当時）は、「科学技術がグローバルな挑戦課題に対応するカギ。」とコメント。

媒体：読売新聞社

[http://job.yomiuri.co.jp/news/jo\\_ne\\_07060125-2.cfm](http://job.yomiuri.co.jp/news/jo_ne_07060125-2.cfm)

麻生外務大臣（当時）は、「北朝鮮は日本の経済力を必要としている。」とコメント。

媒体：読売新聞社

日本の外相は、「北朝鮮は我々を必要としている。」とコメント。

媒体：デイリーニュース（パキスタン）

[http://www.dailytimes.com.pk/default.asp?page=2007%5C05%5C19%5Cstory\\_19-5-2007\\_pg5\\_28](http://www.dailytimes.com.pk/default.asp?page=2007%5C05%5C19%5Cstory_19-5-2007_pg5_28)

在東アジア米国商工会議所副会頭は、「日本と米国の自由貿易協定が鍵。」とコメント。

媒体：ジャパン・タイムズ

<http://search.japantimes.co.jp/cgi-bin/nb20070519a2.html>

日本政府、東京金融ハブ市場作りにはもっと創意工夫が必要。(WSJ より)

媒体：アラブ・ニュース（サウジアラビア）

再開発日本：誰が戦争に勝ったか？

媒体：マニラ・ブリテン（フィリピン）

アジア・ソサエティー代表は、アジアの成長を議論する。

媒体：ベトナム・ネット（ベトナム）

<http://vietnamnews.vnagency.com.vn/showarticle.php?num=04ECO220507>

ベトナムの工業大臣がアジア経済人会議に出席。

媒体：ベトナム・ネット（ベトナム）

未公開株の落とし穴

媒体：モットレイ・フール（オンライン）

<http://www.fool.com/investing/general/2007/06/11/dueling-fools-goldman-sachs-bear.aspx>

「ヴィシヤカ・N・デサイ」インタビュー記事

媒体：月間雑誌「外交フォーラム」2007年7月号（228号）

さらに、アジア・ソサエティー主催「2007年アジア経済人会議」の様子は、NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京を通してテレビ報道されました。

# ASIA 21

## *Young Leaders Summit*

### 2006&2007年 アジア 21・ヤング・リーダーズ・サミット 実態的人口統計

国名	参加人数	参加者全体比
アフガニスタン	3	0.8%
オーストラリア	10	2.8%
バングラデシュ	5	1.4%
ブータン	3	0.8%
カンボジア	9	2.5%
カナダ	3	0.8%
中国	22	6.1%
中国 (チベット)	1	0.3%
香港	6	1.7%
インド	47	12.9%
インドネシア	21	5.8%
イラン	8	2.2%
日本	13	3.6%
カザフスタン	2	0.6%
韓国	18	5.0%
ラオス	1	0.3%
マレーシア	7	1.9%
メキシコ	1	0.3%
モンゴル	2	0.6%
ミャンマー	1	0.3%
ネパール	8	2.2%
ニュージーランド	5	1.4%
パキスタン	11	3.0%
フィリピン	23	6.3%
シンガポール	32	8.8%
スリランカ	2	0.6%
台湾	8	2.2%
タイ	10	2.8%
ティモール	1	0.3%
トルクメニスタン	1	0.3%
英国	3	0.8%
米国	69	19.0%
ベトナム	7	1.9%
<b>合計</b>	<b>363</b>	<b>100.0%</b>

分野	参加人数	参加者全体比
学界	45	12.4%
芸術&文化	23	6.3%
ビジネス	99	27.3%
市民社会	63	17.4%
政府	48	13.2%
保健	10	2.8%
法律	13	3.6%
メディア	40	11.0%
軍事	8	2.2%
政治	9	2.5%
その他	5	1.4%
<b>合計</b>	<b>363</b>	<b>100.0%</b>

性別	人数	男女比率
男性	234	64%
女性	129	36%
<b>合計</b>	<b>363</b>	<b>100.0%</b>

## 日本の参加者

**別府理佳子 (Ms. Rika Beppu)**

シモンズ・アンド・シモンズ外国法事務  
弁護士事務所  
マネージング・パートナー

**茅野みつる (Ms. Mitsuru Claire Chino)**

伊藤忠商事株式会社  
法務部法務第二チーム長

**福重慎一郎 (Mr. Shinichiro Fukushige)**

三菱 UFJ キャピタル株式会社  
ベンチャー・キャピタリスト

**古垣吏一 (Mr. Riichi Furugaki)**

航空自衛隊  
整備補給群司令・1 空佐

**羽坂貴代乃 (Ms. Kiyono Hasaka)**

香港上海銀行 (HSBC)  
バイス・プレジデント

**岩瀬大輔 (Mr. Daisuke Iwase)**

ネットライフ企画株式会社  
取締役副社長 (共同設立者)

**ジョン・ヨンヒ (Ms. Younghee Jung)**

Nokia  
シニアデザインマネージャー

**金井玄 (Mr. Gen Kanai)**

有限責任中間法人 Mozilla Japan

マーケティング部マーケティングディレクター

**近藤正晃・ジェームス (Mr. Masaakira James Kondo)**

東京大学先端科学技術研究センター  
特任助教授、  
特定非営利活動法人日本医療政策機構  
副代表理事

**松古樹美 (Ms. Nami Matsuko)**

野村証券株式会社  
エグゼクティブ・ディレクター

**柴山昌彦 (Mr. Masahiro Shibayama)**

衆議院議員、  
自由民主党

**高崎俊之 (Mr. Toshiyuki Takasaki)**

特定非営利活動法人パンゲア  
副理事長

**山本恵子 (Ms. Keiko Yamamoto)**

日本放送協会 (NHK)  
報道局社会部記者

**谷中修吾 (Mr. Shugo Yanaka)**

財団法人松下政経塾卒塾 (第 24 期生)

## 各国の過去の参加者（抜粋）

### AFGHANISTAN

#### **Ahmad Nader NADERY**

Commissioner  
Afghan Independent Human Rights  
Commission

### AUSTRALIA

#### **Michael JOHNSON**

Federal Member for Ryan  
Parliament of Australia

#### **Kathleen REEN**

Regional Director, Asia Projects  
Internews

### CAMBODIA

#### **Sophiline CHEAM SHAPIRO**

Co-Founder and Artistic Director  
Khmer Arts Academy

### CHINA

#### **HE Fan**

Assistant Director  
Institute of World Economics and Politics  
Chinese Academy of Social Science (CASS)

#### **Ada K.H. TSE**

President & Chief Executive Officer  
AIG Global Investment Group Asia

#### **XU Tiantian**

Founding Principal  
Design and Architecture, Beijing

### HONG KONG

#### **Scarlett LI**

President  
R2G

#### **Shalini MAHTANI**

CEO  
Community Business

#### **Chung TO**

Founder and Chairperson  
Chi Heng Foundation

#### **Nick Rongjun YU**

Director of Programming and Marketing  
Shanghai Dramatic Arts Center

### INDIA

#### **Niret ALVA**

Co-Founder  
Miditech

#### **Barkha DUTT**

Managing Editor  
NDTV

#### **Shaffi MATHER**

Director  
Ambulance Access for All Foundation

#### **Malini MEHRA**

Founder and Director  
Centre for Social Markets

#### **Lobsang SANGAY**

Research Fellow  
East Asian Legal Studies Program  
Harvard Law School

### INDONESIA

#### **Veronica COLONDAM**

CEO  
Yayasan Cinta Anak Bangsa Foundation

#### **Andru SUBOWO**

Managing Director  
Bramadi Capital

### KOREA

#### **H.S. CHO**

Senior Vice President  
Corporate Strategy Center  
Hyosung Corporation

**Jungwook HONG**

Chairman & CEO, Herald Media, Inc.  
Publisher of The Korea Herald

**MALAYSIA**

**Suryani Senja ALIAS**

Senior Vice-President  
Khazanah Research and Investment Strategy  
Khazanah

**Khairy JAMALUDDIN**

Director, Corporate Advisory  
ECM Libra Capital SDN BHD

**MONGOLIA**

**Damdin TSOGTBAATAR**

Foreign Policy Advisor  
Office of the President

**PAKISTAN**

**Faiysal ALIKHAN**

Director Commercial  
DHL Pakistan (Pvt.) Ltd

**Zahid JAMIL**

Barrister-at-Law and Senior Partner  
Jamil & Jamil Barristers-at-Law

**PHILIPPINES**

**Paolo Benigno A. AQUINO IV**

Chairman and Chief Executive Officer  
National Youth Commission

**Dennis ECLARIN**

CEO  
Hometown Corporation

**Harvey S. KEH**

Executive Director  
Pathways to Higher Education

**SINGAPORE**

**GAN Su-lin**

Council Member, National Youth Council  
Director, School of Technology for the Arts  
Republic Polytechnic

**Robin LOON**

Assistant Professor  
National University of Singapore

**THAILAND**

**Piya HANVORAVONGCHAI**

Lecturer  
Chulalongkorn University

**Apimongkol SONAKUL**

Member of Parliament  
Bangkok Constituency 6  
Democrat Party

**TAIWAN**

**Bi-Khim HSIAO**

Member of Parliament  
Legislative Yuan, Taiwan

**Fan YUN**

Professor of Sociology  
National Taiwan University

**USA**

**Eric GARCETTI**

President  
Los Angeles City Council

**Alamdar HAMDANI**

General Partner  
Borunda Hamdani & Simon, LLP

**Katie HONG**

Deputy Director, Pacific Northwest  
Programs  
Bill & Melinda Gates Foundation

**Parag PATEL**

Senior Director  
EMC Corporation

**Joshua RAMO**  
Managing Director  
Kissinger Associates

**VIETNAM**

**Dinh Q. LE**  
Founder of Untitled Space, Co-Founder  
Vietnam Art Foundation

## アジア 2 1 各国代表者達からの反響

「学識ある印象的なリーダー達が集まる素晴らしい場となった。私はそんなイベントの参加者の一人になれて光栄でした。」

- Anna Bantug Herrera, Acting Director, Asia Region, Chemonics International, U.S.

「2日間という会期は、こんなに素敵な大勢の人達と紹介し合うには短い期間です。全ての人が魅力的な話をしてくれるのだから。」

- Neelesh Mishra, Senior Roving Editor, Hindustan Times, India

「全ての代表者の経歴が素晴らしい。いい仕事は、これらの素敵な人々を見つけて一緒に繋げている。」

- Seagull Song, Partner, Arnold & Porter, China

「色々な人々の混合が特に凄かったです。私は色々なことを学んで、良いコネクションもいくらかできました。そして、そこで学んだダイナミックなアイデアの数々を、私の移民権利での仕事に生かしました。」

- Shankar Narayan, Policy Director, Hate Free Zone, U.S.

「ヤング・リーダーズ・サミットは、私の予想をはるかに超えていました。地域を越えて最も素晴らしい人々に会えました。私達が確立したネットワークと関係は疑う余地無く、世界の我々それぞれの地域の多様文化の架け橋をなるものだと思います。」

- Sabeen Jatoi, Communications & External Affairs Field, BP Pakistan Exploration & Production Inc., Pakistan

「シンガポールのリーダーシップサミットで、私はこんなに多くの驚異的でめったに会えない方々と会えました。それは忘れられない週末になりました。自分の仲間から彼らの人生の分岐点/リーダーシップをする時期の話聞くことは、贈り物であり、心に訴えかけるもの以外に他なかったです。私は、本当のリーダーシップの特性について、週末からいくつかのレッスンを受けました。「人を先導するのに一番いい方法は実例を挙げることだ。」と、私のメンターの一人がかつて教えてくれました。ひしめき合う200以上の手本となる人々と、このサミットの間で一緒にいることはとてもスリルでした。まるでリーダー達ではなく何かの本当のヒーロー達の間を、私は歩いているような気がしました。他のいかなる会合や機会でも、このような多様で、傑出して、一風変わった人々と地域で会うチャンスはありませんでした。私達は、間違いなく長続きする友好に発展する強い絆をいくつか作りました。私は、我々の社会を良くする為の変化による集合と分離の可能性、そして改革の活動任務をする上での自己責任を再確認し、再び活気付けるべくプノンペンに戻りました。」

- Putsata Reang, Journalist and Author, Cambodia

「アジア太平洋地域周辺からの優秀なリーダー達に一つの場所でまとめて会えたことは、まさに驚きと感動でした。全ての人から様々なことを学びましたし、彼らからとてもいい刺激を受けました。」

- Mitchell Pham, Director and Co-Founder, Augen Technology Group, New Zealand

「このサミットはとてもいいスタートで、色々感動しました。」

- Mellissa Aratani-Kwee, Chairman, Halogen Foundation Singapore

「我々は確実にインドでのアジア 2 1 を成長させます。何故なら世界がそれを必要としているのだから。私は確信しています。」

- Varun Sahni, India Director, Acumen Fund, India

「アジア 2 1 は、アジアと米国間の効果的な架け橋として、首尾よく独創的にできています。私は、アジア・ソサエティーが、オープンで総括して維持可能な発展フレンドリーな地域向けと世界的原動力のために、明確な人をひきつけるビジョンを提供しているのを知り、とても嬉しく思います。」

- Shuaihua Cheng, Program Officer, Strategic Analysis and International Centre for Trade and Sustainable Development, China

「このサミットは驚くべき成功でした。」

- Maziar Bahari, Correspondent, Newsweek, Iran

「変革主導者に囲まれることは、圧倒的経験でした。それは、精神的で、すごく計画的で、そして刺激的でした。」

- Jasmeen Patheja, Photographer, Blank Noise, India

「なんて心開くイベントなのだろう！高い教養を持っているのに心が広く非利己的な人々達の真ん中にいたのは、私にとってすごい特権でした。絶対に、私が学ぶべきことはまだ沢山あります。」

- Hendra Sutandinata, Executive Director, PT MVCommerce Indonesia

(注1) 「アジア 2 1」及び「ASIA21」の日本語読みは、「アジア・トゥエンティワン」とします。日本語表記は、「アジア 2 1」で筆記統一します。

(注2) なお、この「アジア 2 1」の名称はアジア・ソサエティー主催の国際会議の名称であり、同名の他の団体及び企業とは一切関係ございません。